

2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022 年 3 月 7 日
研究・研修課題名	腎臓リハビリテーション指導士資格取得のための補助
研究・研修組織名(所属)	リハビリテーション部
研究・研修責任者名(所属)	中隅 濃
心不全療養指導士資格試験の受験研究・研修実施者名(所属)	中隅 濃

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	中隅 濃 (リハビリテーション部)
学会名(会期・場所)、認定名等	腎臓リハビリテーション指導士
演題名・認証交付元等	腎臓リハビリテーション学会
取得日・認定期間等	試験の延期
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

①目的

腎臓リハビリテーション(以下:腎リハ)は腎疾患や透析医療に基づく身体的並びに精神的影響を軽減させる。そして症状を緩和し、生命予後を改善し、心理社会的な状況を改善することを目的とした長期にわたる包括的なプログラムとされる。本院においても透析患者、腎疾患患者の増加に伴い腎リハの重要性は増してきている。現在本院には腎臓リハビリテーション指導士(以下:腎リハ指導士)はおらず、腎疾患患者に対するリハビリテーションの知識、技術の向上をはかるため資格取得を目的とする。

②方法

・腎リハ学会に2年以上在籍・10症例のレポート提出
以上の条件を満たした上で第3回腎リハ指導士認定講習会を受講した後、第3回腎リハ指導士認定試験を受講する。

③成果

第3回腎リハ指導士認定講習会、第3回腎リハ指導士認定試験は2022年3月26-27日に行われる予定であったが新型コロナウイルス感染症対策のため2022年の夏ごろに延期となった。腎リハ学会に2年以上の在籍、10症例のレポート提出の条件をすでに満たしており、主催する腎リハ学会より腎リハ指導士研修受講資格及び受験資格については問題ないとのメールは届いている。

腎疾患患者、透析患者は増加の一途を辿ることが予想される。腎リハの知識、技術は腎疾患患者において症状の安定をはかること、加えて透析予防、若しくは透析開始時期を遅らせるために医療経済的にも必要とされる。

現在、本院に腎リハ指導士は不在であり、島根県内においても在籍している施設は少ない。腎リハ指導士資格を取得することで院内のみならず県内でもこの分野の中心的な役割を担うことが期待できる。